

わざラボ！第4回「フォント — 文字の話」

開催日時：11月9日（金）13：00～17：30

会場：（株）日本デザインセンター13F POLYLOGUE

講師：（株）フォントワークス 三原史朗氏

（株）フォントワークス 書体開発部部長：藤田重信氏

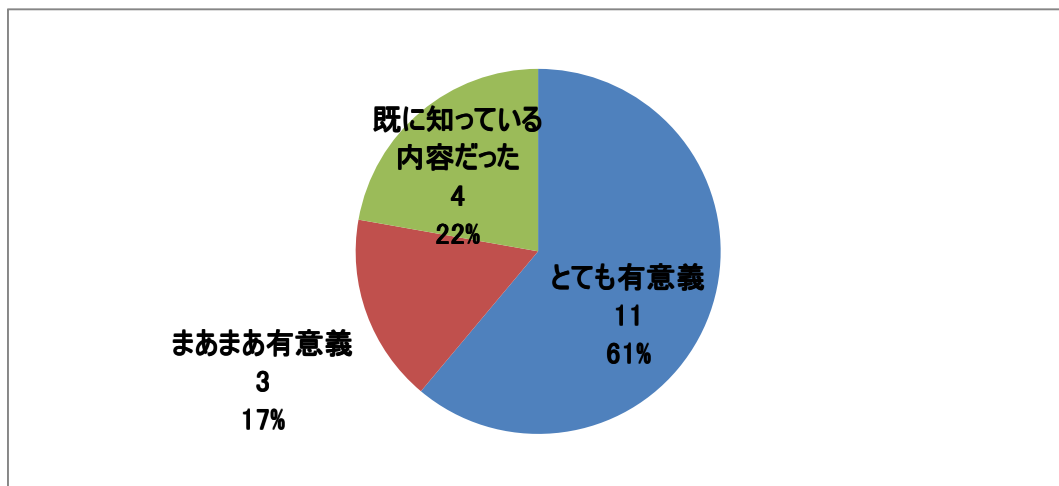
（株）草野デザイン アートディレクター 草野 剛氏

参加者：28名

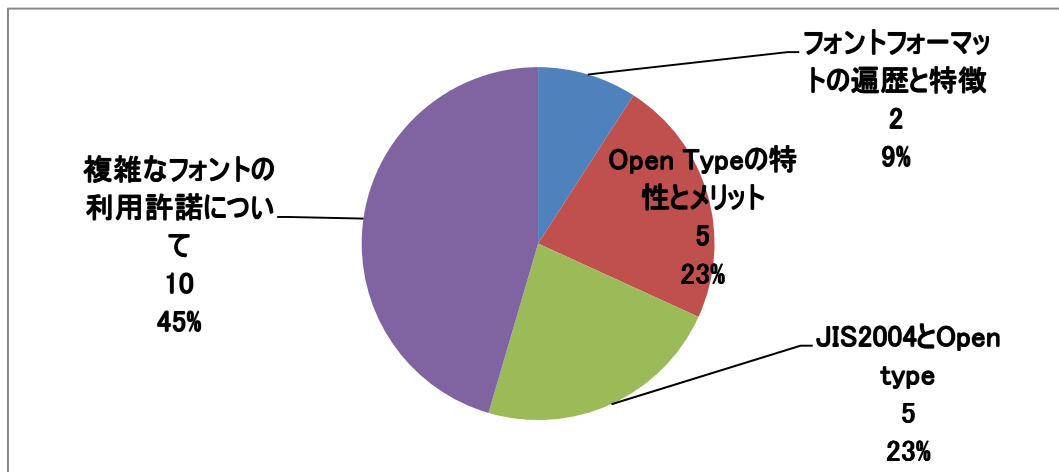
アンケート回収数：18

第1部

① 「フォントに関する基礎知識」について



② 聞いて良かった項目

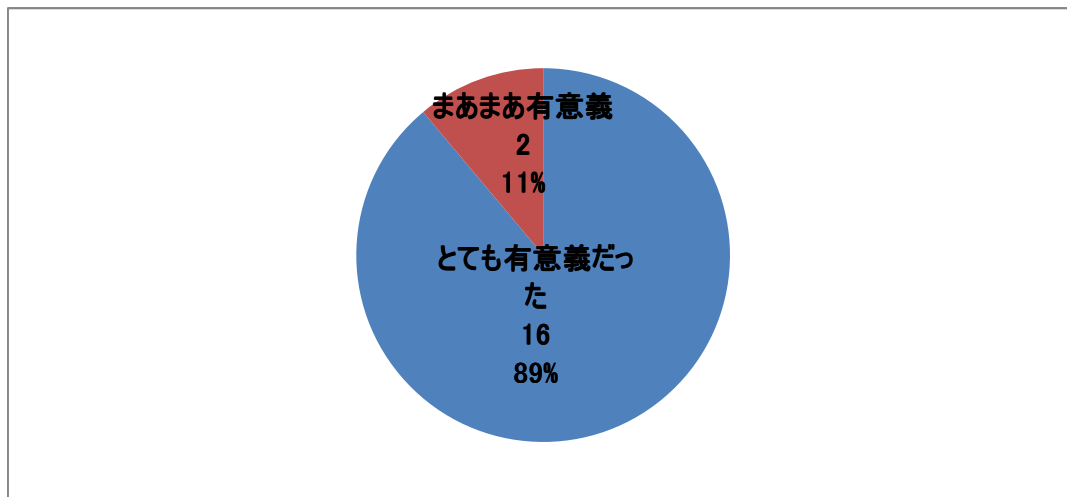


意見

- 筑紫フォントの開発の話が有意義だった
- OTF、OCF の違い、データの作り方を詳しく知りたかった

第2部

「フォントとデザインの開発現場」について



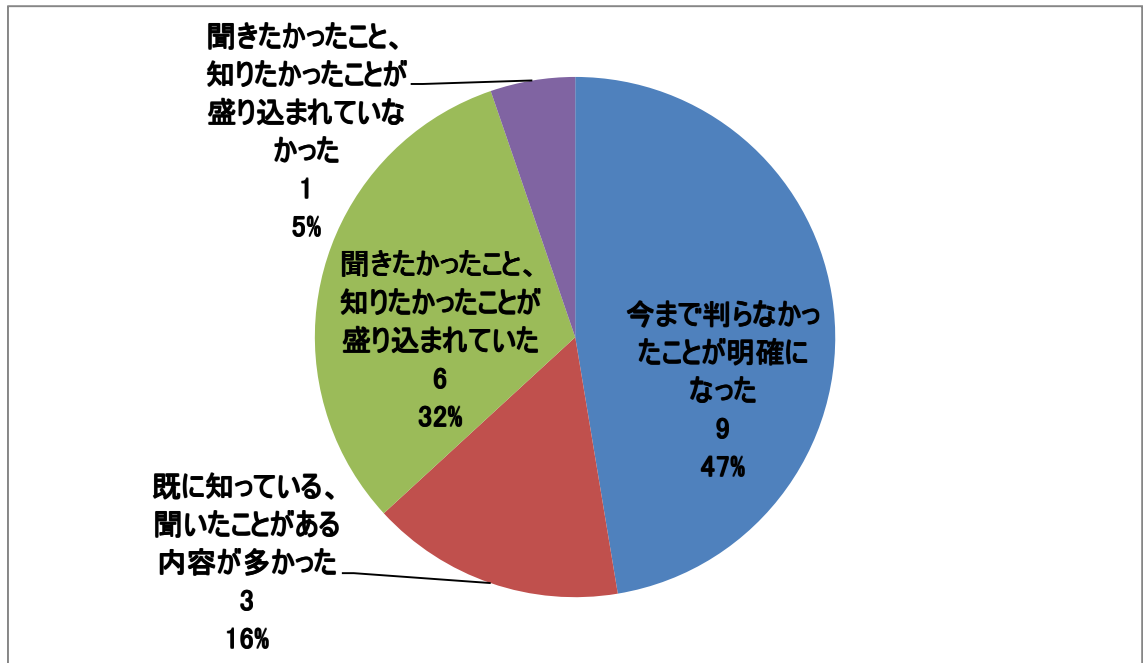
意見

- 書体一文字、一文字にこだわって創られていると感じた
- フォントデザインは難しいものだと思わためて感じた
- 藤田氏の目指しているフォント創りが垣間見れ、とても面白かった
- 草野さんと藤田さんの意見交換がもっと聞きたかった
- 藤田さんの文字への情熱がとても伝わり感激しました。特に「ひらがな」のデザインへの思いは面白かった。文字を選ぶとき、フォントデザイナーの気持ちを考えて大事に選んで行こうと思います
- 書体の使い方など今まで知らなかったことに気付かされました
- フォントそのものをもう一度見直したいと思いました
- フォントを創られる側と、使われる側のフォントに対するこだわりをきくことができ良かった

○書体設計について、もっと沢山お話を聞きたかった

○藤田さんがどのようなことを考え、書体をデザインしているのか勉強になりました。草野さんのオタクコンテンツの話も楽しかったです

③ プログラム全体について



意見

○4時間の価値ほどはないと感じた

○フォントを選ぶとき、何を考えて選ぶか、どんなイメージに仕上げたいからこのフォントを選ぶなどの話が聞けたのは良かった。今の最先端のデザインの現場の話がもっともっと聞きたかったです。Illustrator や In design のデータも見てみたかった

○今回初めてOACの講座を受けたのですが、非常に興味深い内容でした。私はデザインや美術が専門ではありませんが、普段は聞くことができない生の声を聴くことができ、学ぶことが多々ありました。

○終了時間はなるべく守ってほしい

④ あなたにとってフォントとは？

- 大事なもの。もっと大事にしようと思いました
- 学生時代は写植、仕事では写植から Mac への過渡期で、戸惑いがあったりしましたが、大学で写植を学んでいて良かったと思います。学校では活版も学んだので墨溜りの情緒を忘れないでいたいと思います。藤田さんのお話から「書」にも興味を持ちました。文字の成り立ちを見直してみたくなりました。
- フォントそれぞれ自分の顔と性格を持っていると感じました。フォントの性格を知ればより良いデザインができると感じました。
- 視覚的に情緒を伝えるうえで、写真やイラスト以上に見る人の印象に残るものだと思います。
- 現場でも、インストールされている書体だけで事を済ませることが多く、もっと書体で冒険というか選択を広くできるようにしていきたい。

⑤ 今後のセミナーで知りたいこと・見たいことは？

- 活字の歴史などの話が面白かったので更に聞きたい
- Web の未来など
- フォントの回、また期待しています。印刷物になったものも手に取ってみたいです。
- アニメの制作過程
- 広告・Web 様々な分野でのデザインの認識の違いなど知りたい